



完成間近の鉄道高架(高知)

高知県 視 察

鉄道高架事業を請け負っていたのは 大半が県外の手ゼネコン

高知・鉄道高架事業の請負業者

①工区	大成建設(株)
②工区	四国開発建設(株)
③工区	日産建設(株):基礎抗→(株)竹中土木:構造物
④工区	西松建設(株)
⑤工区	清水建設(株)
駅工区	高知駅付近高架化駅工区工事共同企業体(鹿島建設(株)、四国開発建設(株))
⑥工区	(株)大林組
⑦工区	前田建設工業(株)
⑧工区	大旺建設(株)
⑨工区	五洋建設(株)
⑩工区	高知駅付近高架化⑩工区工事共同企業体((株)間組、香長建設(株))
⑪工区	高知駅付近高架化⑪工区工事共同企業体(大鉄工業(株)、(株)轟組)
⑫工区	高知駅付近高架化⑫工区工事共同企業体(鉄建建設(株)、(株)竹内建設)
⑬工区	高知駅付近高架化⑬工区工事共同企業体((株)銭高組、(株)田邊建設)

鉄道高架事業を請け負っているのは、どこの業者か…などを調べに、高知県庁へ視察に行ってきました。

高知の鉄道高架事業の概要ですが、高架区間は四千八十メートル(徳島は四千七百メートル)で、「鉄道高架」事業費(街路、まちづくりを除く)は五百三十一億円。平成二十一年度完成に向け、八割ほど工事が進捗していました。

県から委託を受けた

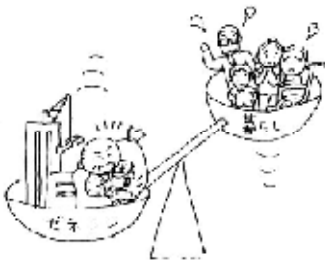
JR四国が工区に分割発注

鉄道高架の工事は、事業者である高知県から委託を受けたJR四国が、四千八十メートルを十三に分割して発注していました。

上の表をご覧ください。請け負ったのは、大半が県外の手ゼネコン。十三のうち一つ(⑧工区)だけ地元企業が請け負い、四つ(⑩⑬工区)に地元企業が、ゼネコンとの共同企業体として参画しています。

見事な割り振り

談話が常態化している?



上の表には、スーパーゼネコン、準大手ABゼネコン、中堅Aゼネコンが

ズラリと並び、しかも、見事に割り振られ:「談話が常態化している」と推測できます。

批判の高まる中、

「透明性の確保」通達を出す

鉄道高架事業に対し、国土交通省・鉄道局は『…鉄道事業者が工事を行う場合の費用等の透明性の確保について』という「通達」を、平成十六年七月一日付けで出しています。



これは、「談合」など、鉄道高架事業に対する批判が、全国で高まっているためです。

可動堰にかわる鉄道橋梁が?

「もたせゼネコン」の仕事づくり

(「徳島の場合」)吉野川可動堰にかわる事業ということで、鉄道高架をゴリ押ししているのではないかと、いう声があちこちから聞こえてきます。どちらも、ゼネコンが進める大型公共事業だからです。

不況が深刻化する中、大事なものは、県外のゼネコンでなく、地元が潤う公共事業を増やすこと…防災対策は、木造住宅の耐震化をはじめ、大半が地元の仕事…鉄道高架を止め、防災対策の充実を推進すべきです。

高知県 高視

鉄道高架に伴う車両基地・行違設備
八十九億円もの移転・設備費用

高知では、高知駅を中心に鉄道高架を建設しているため、駅北の車両基地を、平成十四年三月に移転させていました。

移転先を視に行きました。が、田んぼの真ん中にある三鈴もの広大な基地：七十八億円の費用がかかっています



広大な新車両基地

した。

鉄道高架に伴う、もう一つは『行違設備』。JR土

讃線は単線のため、回送列車と行き違えるように、新

車両基地の手前、九百三十二坪間を、十一億円の費用で複線化していました。



複線化された『行違設備』

沼津市視察

再開発ビル・事業はゼネコン任せ

キーテナントも決まっていらないのに

ビル建設だけが着々と

「ホッとニュース」(五月十四日号)で、岡山県津山市の再開発ビル『アルネ』を紹介しましたが、ここでは、キーテナント「天満屋」などのために莫大な税金を投入し、再開発ビルを建設したゼネコン「熊谷組」が大もっとうけていました。私が、最近、もう一つ視察したのは静岡県沼津市の再開発ビル。ここでも、『アルネ』と同じような現象が起っていました。

視察した沼津市では、鉄道高架事業と共に『駅前市の街地再開発事業』

が、平成二十年春オープン予定で行われていました。

ここも、徳島市・西新町

や『アルネ』と同様、中心市

街地活性化が目的：このビ

ルは地下一階

く地上三階が商業施設、四

階、七階が駐車場(三百五十四台)、

八階、二十階がマンション(百四

戸・専用駐車場百五台)。

マンションは「百二戸売れた」と

のことですが、「売れた」中味は竹中

工務店の事業協力者である静岡鉄道

が一括購入していました。

この事業は「市施工」のカタチをと

っています。資料をみま

した。



ら、ゼネコンの竹中工務店が「テナントを誘致することになってい

ます。しかも「誘致責任はなく努力目

標」：無責任さに啞然としました。

視察でお聞きしましたら、「キー

テナントも決まっていけない」との

こと。こんな中、上の写真のように、再

開発ビル建設だけは、竹中工務店が

着々と進めていました。

また、「(専門店も)保留床を

買うのではなく賃料」とのことですが、

税金をドンドン投入した『アルネ』

と同じ方式です。

また、キーテナントとして西武百

貨店が入る予定でしたが、みずから

の都合で撤退：「市長は西武に対し

て損害賠償をせよ」と住民が裁判を

おこなっていました。

ところで「鉄道高架」ですが、『広

報とくしま』六月一日号に特集が出

され、「鉄道高架は決まってしまう

た事」と思われている方もおいでと

思いますが、決まるのは三、四年先

の「都市計画決定」時。

千億円もかかるムダな鉄道高架事

業は、財政危機宣言の徳島市にとつ

て命取りになる危険

性が高い：それよ

りも、防災や福祉対

策の充実が急務で

す。

ホッと

ひといき

六月十三日、朝十時から、市議会本会議で、日本共産党徳島市議団を代表して私が質問を行います。

質問時間は、答弁時間も入れて七十

十分。今回予定しているテーマは

「鉄道高架」「再開発」「防災」「国保」

「教育基本法」と、多岐に渡ってお

り、準備の方も大変なんです。精

一杯がんばっているところです。時

間の許す方は、ぜひ傍聴におこし

さい。

